

VHF帯 車載用無線装置

VHF帯 (60MHz, 150MHz) を
広帯域にカバーする車載用無線電話装置。
業務用無線装置に求められる「堅牢な筐体」
「クリアで大音量の音声出力」を実現。
過酷な条件下で優れた性能を発揮します。
車載での操作性を最優先に、
前面パネルは、シンプルに構成。



機器仕様

一般事項

周波数範囲	下記の周波数範囲から指定の最大6波 54~74.8MHz(ただし8MHz以内) 142~162.0375MHz(ただし12.5MHz以内)	消費電流	送信時(10W) 5.0A以下 送信時(25W) 7.0A以下 受信時(AF出力1W時) 1.2A以下
通信方式	単信方式(プレストーク方式)	使用温度範囲	-10~+50℃
空中線インピーダンス	50Ω	耐湿性	+35℃で95%以下
電波型式	F2D、F3E	耐振性	0~500回/分 全振幅3mm 500~1800回/分 全振幅1mm の条件下にて、上下、左右および前後に それぞれ30分加え異常が無いこと
トーンスケルチ	ご指定のトーン1波実装可能		
使用定格	35℃で、送信1分、受信1分の繰り返しで 連続8時間動作させ異常の無いこと	耐衝撃性	高さ5cmより3回木板上に落下させ異常が無い
使用電源電圧	DC13.8V±10%	外形寸法	50(H)×180(W)×235(D)mm (突起物は除く)
電源接地方式	マイナス接地	重量	約2.0kg

送信部

送信出力	5W、10Wまたは25W(ご指定による) +20%~-50%以内
周波数偏差	±10×10 ⁻⁶ 以内
発振方式	水晶制御シンセサイザ方式
変調方式	可変リアクタンス位相変調方式
最大周波数偏移	±5.0kHz以下
標準変調入力	-4dBm±1dB以内 標準変調は、1kHzで70%変調
変調入力インピーダンス	40Ω
総合歪み及び雑音	標準変調で20dB以上
信号対雑音比	標準変調で40dB以上
スプリアス発射強度	無線設備規則(平成17年12月1日改正)の スプリアス基準に合致します
占有周波数帯幅	16kHz以内
トーン周波数偏移 (トーンスケルチ実装時)	0.5kHz±20%

受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイナ方式
局部発振周波数偏差	±10×10 ⁻⁶ 以内
受信感度	6dBμV以下(20dB _{NQ})
通過帯域幅	6dB感度低下の帯域幅 12kHz以上
減衰量	70dB感度低下の帯域幅 25kHz以内
信号対雑音比	40dB以上(標準変調30dBμV入力時)
スプリアスレスポンス	80dB以上
総合歪み及び雑音	20dB以上(標準変調20dBμV入力時)
スケルチ感度	10dB _{NQ} 感度以下で開き、 40dBμV以上の信号を抑制しない
低周波定格出力	1W以上
副次的に発する電波	4nW以下

■標準付属品

- ハンドマイク
- 電源コード
- 車載用取付金具



■オプション

- 車載用空中線



(2009.10)

無線局を開設するには、電波法令に従い、総務省総合通信局に申請し、免許を受ける必要があります。